

学校情報

①学校の概要、目標及び計画

学校名	設置年月日	校長名	所在地・連絡先
仙台リゾート＆スポーツ 専門学校	平成7年3月31日	佐藤 亨	〒982-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡5-13-3 (電話) 022-256-5272
設置者名	設置年月日	代表者名	所在地・連絡先
学校法人 三幸学園	昭和60年3月8日	昼間 一彦	〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-6151
学校の教育・人材養成の目的			
本校は、学校教育法及び私立学校法の規定に基づき商業スポーツ施設及びレジャースポーツ、リゾートビジネスに関する専門知識及び技術を習得させ、職業若しくは実生活に必要な能力の育成と教養の向上を図ることを目的とする。			
沿革	http://www.sanko.ac.jp/about/history/		

②各学科等の教育

学科	修業年限	入学定員	収容定員
スポーツトレーナー科	2年	160人	320人
スポーツITトレーナー科	2年	40人	80人
スポーツインストラクター科	2年	40人	80人
スポーツビジネス科	2年	40人	80人
アスレティックトレーナー科	3年	60人	180人
スポーツ保育科	3年	40人	120人

<客観的な指標の算出方法>

客観的な指標の算出方法
全履修科目の評定（5点法で示されたもの）の和を科目数で除したものを「評定平均」とし、年に2回（期末ごとに）一覧管理を行うことで、成績の分布状況を把握する。

<卒業要件について>

卒業要件	
本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。	
スポーツトレーナー科	トレーナーとして、主に個に対応するレジスタンストレーニングやコンディショニング、及び機能改善に必要な知識・技術を身につけ、それらのスキルを活かして、幅広い層・目的に応じたトレーニングプログラムの作成、指導ができる。
スポーツITトレーナー科	トレーナーとしてICTツールを駆使して科学的に分析・解析された運動・トレーニング(競技・ストレングス・コンディショニング)をクライアントのニーズに合わせて提供できる。
スポーツインストラクター科	インストラクターとして、主にグループレッスンに必要な知識・技術を身につけ、人々を惹きつける魅力あるレッスンを展開し、健康づくりのためのプログラム提供と運動指導ができる。
スポーツビジネス科	あらゆるスポーツの特性や、スポーツ業界に関わる幅広い知識を有し、社会や消費者が求める商品の開発や提案ができる。また、スポーツを通じて健康や感動を提供するためのイベントの企画や運営ができる。
アスレティックトレーナー科	アスレティックトレーニング学の知識を有し、アスレティックトレーナーとしてスポーツ・医療・健康・教育現場、すべての分野でプロフェッショナルに活躍できる。
スポーツ保育科	幼稚園や保育園、幼児体育施設などの先生として、こどもの発育発達を理解し、運動遊びや体操指導を通して、こどもの個性・成長を総合的にサポートすることができる。

<取得可能な資格について>

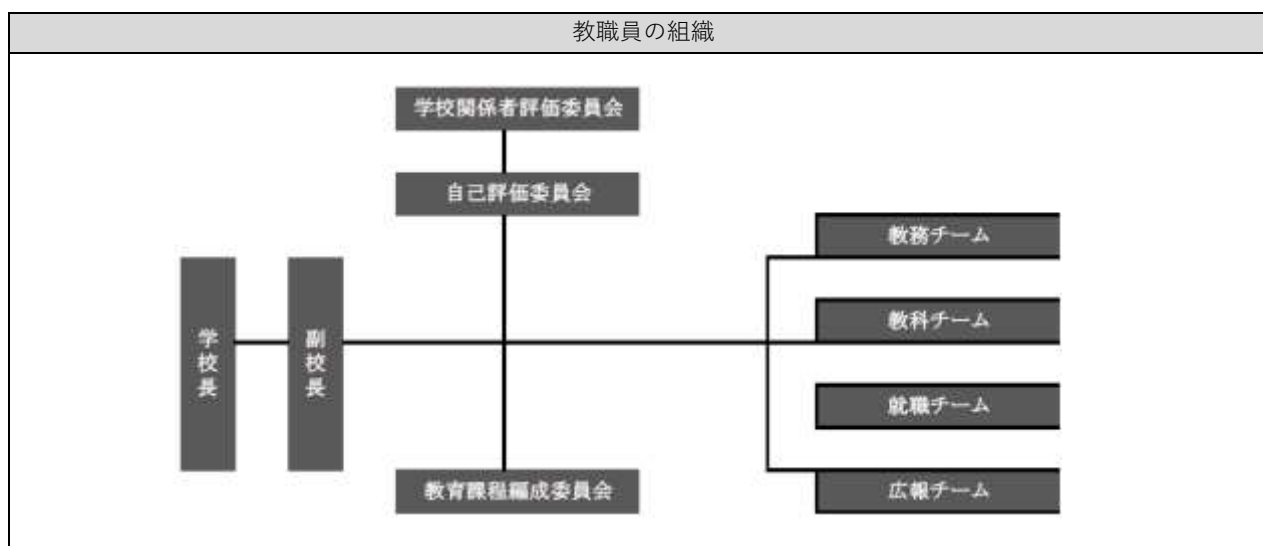
取得可能な資格	https://www.sanko.ac.jp/sendai-sports/jobdata/skill_introduction.html
---------	---

<卒業後の主な進路について>

就職実績	https://www.sanko.ac.jp/sendai-sports/jobdata/jobdata.html
------	---

③教職員

専任教員	16
兼任教員	34
事務職員	4



<教職員の専門性について>

名前	専門分野	資格・職歴等
高橋 泰幸	トレーニング	(公財)日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー、(公財)日本スポーツ協会公認ウエイトリフティングコーチ等/パーソナルトレーニングジムでトレーニング・ランニング等を指導
薄井 啓	スポーツ生理学	(公財)健康・体力づくり事業財団健康運動指導士、中学校・高等学校教諭免許(保健体育)/株マルシンク代表取締役としてメタボ予防等の実技指導を実施
中津 範洋	幼児体育	中学校・高等学校教諭免許(保健体育)、(公財)日本スポーツクラブ協会子ども身体運動発達指導士等/大学・専門学校にて幼児体育指導者を養成、NPO法人を運営し、幼児体育を指導 等
青木 紀子	幼児心理学	幼稚園教諭免許、小・中・高(社会)教員免許、保育士等/幼稚園・小学校にて計14年間勤務の他、児童相談所の発達相談業務での相談員として勤務

④キャリア教育・実践的職業教育

キャリア教育への取組	https://www.sanko.ac.jp/sendai-sports/jobdata/support.html
実習実技への取組	学校で学んだ知識や技術をアウトプット出来るような教育機会を提供している 座学・実技授業のシラバスを連動させ、理論から実技とスムーズに学んだ知識を実践できる機会を設定している。また、全科において、現場実習の機会を設定しており、現場にて日々の授業で学んだことをアウトプット出来る機会がある事により、質の高い学びを体感出来る様な取り組みを行っている。

⑤様々な教育活動・教育環境

学校行事	https://www.sanko.ac.jp/sendai-sports/schoolguide/year.html
------	---

⑥学生の生活支援

生活上の諸問題（中途退学、心身の健康）への対応	
学科担当制を取り、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。また出欠席の状況等について、必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、連携体制を整えている。また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。	

⑦学生納付金・就学支援

学生納付金	https://www.sanko.ac.jp/sendai-sports/assets/media/pdf/sendai_RS_1_2024.pdf
就学支援	https://www.sanko.ac.jp/sendai-sports/guidelines/

⑧学校の財務

事業報告書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
-------	---